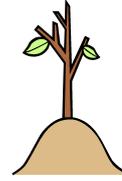


種蒔く人

令和3年8月26日
須恵小学校便り17号



感動創造

「努力は運を支配する」宿沢広朗【故人】(ラグビー日本代表監督をしながら、三井住友銀行取締役専務執行役員コーポレートアドバイザー本部長)

元気な児童とともに、2学期が始まりました

2学期も変わらぬご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

以下は、始業式で児童へ、裏面は2学期始めにあたって職員に話した内容です。

今日は、元気な皆さんに会えて、とてもうれしいです。

今から三つの話をします。

一つ目は、この夏のオリンピックについてです。

見た人は手を挙げてください。いろんなスポーツを見たようですね。

それでは質問です。試合が終わった後、泣いている人を多く見ました。なぜ泣いていたのでしょうか？

担任の先生方に、紙を渡してあります。「こうじゃないかな」と思った人は、書いて校長室前に準備した金のポストに入れてください。秘密でなければ名前も書いてくれるとうれしいです。

二つ目は、リーダーについてです。

世界では、若者のリーダーが増えています。例えば、2013年に「レジ袋をなくそう」と世界で最初に言ったのは、インドネシアのメラティとイザベルです。驚くことに、そのときの年は10歳と12歳です。学校で、「世界を変えるリーダー」という学習をした後、自分たちも何かしようと考え実行したのだそうです。レジ袋のゴミがバリ島での問題でした。リーダーに年齢は関係ありません。グレタ・トゥンベリさんも有名です。皆さんも、学習していく中で、これは大切というものを見つけたら、リーダーとして活躍してください。

三つ目は、命と一日一日を大切にしてほしいということです。8月は、戦争についての放送がテレビでたくさんありました。生きたくても生きることができなかつた人が大勢いました。今も世界中で、学校にいけない子供がたくさんいます。私たちは、学べる幸せに感謝しながら、一日一日を無理せず努力していくことが大切だと思います。問題があれば一緒に解決していきましょう。

皆さん、2学期もチャチャコーズに取り組み、更に美しい人・強い人になってください。皆さんにとってすばらしい学期になるようぼくも頑張ります。



分散始業式の様子

令和3年度第2学期の始まりを迎えるにあたって
2015「OECD Future of Education and Skills 2030」から



- ・ ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）実現したい未来を創る
- ・ 個人及び集団としての ウェルビーイング（心身ともに幸せな状態）
- ・ エージェンシー（変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力）→他者が設定したゴールに向かうだけでなく「そもそも、設定されているゴール自体が適切なものなのか」といったことまで考えていくこと

☆質の高い教育をみんなに→感動体験創造←恩送り

民信無くば立たず（不祥事防止等）

仕事とは、人を喜ばせることである（生きがい）

- ① 言葉を大切に、充実した一日を。
- ② 校務は全てABC → 今年の経営の方針はPDCAを回すこと
校務分掌・教育課程・教科指導・年間指導計画等
- ③ 校務でのリーダーシップとフォロアーシップ
困ったら仲間に相談する。仲間は力になる。プレイヤーはキャプテンを中心に主体的に活動する。コーチは技術指導を行う。監督は方針を示し、その責任を取る。アイディアは会話から生まれる。みんなが協働して前へ進む。幸せな職場を、みんなで作る。
- ④ 球磨教育事務所の学力向上の4つのポイント
 - ・ 支持的風土のある学級づくり→仲間づくりとチームとして活動
 - ・ 「振り返り」活動の充実 → 校内研で進める共通実践事項
 - ・ 個に応じた家庭学習の充実 → 校内研で進める共通実践事項
 - ・ 共通実践事項の徹底 → みんなでやる・みんながやる

○全ては子供たちのために（理念）

（教育の質を少しずつでも向上させる）

○決まったことはやる（実践）

（共通実践事項や自分のやるべき事など）

☆チームになるために

（寛容と思いやり →感謝と謙虚 →信じる）